





バーチャル高校

ああ…負けっぱなしだよ最近
どうすれば強くなれるだろう

てか聴いてるか
ポラちゃん？

うんうん…聞いているよ
A君がゴールドに行け
ないの話ね、あるあるだね

その気持ち
わかるよ…

ソロマスの人が
僕の気持ちをわ
かる訳ないじゃん

毎日ちゃんとエ
イム練習すれば
すぐ行けるよ

ボラは僕の幼馴染だ。
まだ幼い頃に外国から
隣に引っ越してきた。

僕たちは隣人である
だけではなく、好みも
似ていて、何でも話せ
る友達だ。

日が経つにつれて
彼女は徐々にゲーム
の才能を発揮し、ゲーム
実況者になった。

同い年だから
同じ学校に通い、
同じクラスで勉強した
高校まではほぼ一緒に過ごした。

僕は段々と彼女と距離感を感じる
時々心がモヤモヤする
いつか僕から離れていっちゃうん
じゃないかと考えてしまう

自分が彼女への気持ちは
普通の友情を超えていると
わかってるんだ
いつか彼女に告白して
本当の気持ちを彼女に伝えたい
と心に決めた



しょうがないな
今日の配信前に
一緒にリンクを回ろう

その言葉を聞くのを
待ってたぜ
たすか…

よ

楽しそうに話して
いるじゃん
なにになに？

俺も仲間に入れてくれよ
昨日ダイヤ行ったぜ…
ボラちゃん、俺ダイヤ行ったら
二人でリンク回すのを約束し
たよね？

C先輩
最近学校で知り合った先輩
同じ流行りのゲームをプレイしてる
ことを聞いてよく話しかけてくる
チャラそうに見えるが実はとても
優しい人だ

ああ…先輩と約束したん
だ…

A君ごめん!!
約束したのを忘れ
ちゃった…

大丈夫!!
今日ボラちゃんの配信
を見て操作の勉強するよ

すまないなあA君



本当にすげーよ...

今はきつとエイム
練習してるでしょう

そういえば
帰るのが早かったなあ
ポラちゃん

今日はこの方法を試すか...




「よし」と言ったら
食べてね

待て



今日の約束を忘れたとは
どうやらお仕置きして
やれないとだめみたいだ

もう十分経ったのか
「よし」




数回だけで
こんなに上手く
なったのか


ちゅる

これは良い獲物
をゲットしたなあ…


ちゅる



一緒にゲームを遊ぶという名目で
ナンパしてみたけど一発で成功し
た



それから彼女はセフレに
てくれた



しかも胸でかいのにまだ処女
さすがに勿体なさすぎる
初めてが俺でよかったな

時間は大丈夫だけど…
これ…恥ずかしい…

わ
わ
わ

そろそろ配信する時間だ
俺邪魔してないよね

今日はあれしよう

前話したパイズリ



で
射精る!!

わお…使いたかったよこの
でかいおっぱい…
やっぱすごい…!!

わ
わ
わ

わ
わ
わ



前みたいになちゃんと
ゴムをつけてるから
平気平気

あそこ...だめ...



ここは相変わらず
締まるなあ

おぬぬ



ボラちゃんは
生でやるとしたら
やっぱ好きな人でないと
無理だよな
例えば:A君とか

...ちがっ

そうだ
面白いこと思いついたぜ



あん♡ん...いっく...



あ...赤アーマー



まず銃を...



ウルト使っ...



割った...♡!!



あっ...そこ...!!



調子調子がわるいみたいだ
大丈夫かなボラちゃん...
(声なんか色っぽいな)

うん...
イッ...
...
...

そういえば
昨日の配信…

ボラ…？

え!?

ごめん…
聞いてなかった

おいおい
まさか最近調子わるいか

そうだ
今晚一緒にご飯食べよう？
ついでにゲームもやて…

あの…ごめん…
最近大会があつて…
練習しないと…

ああ!!前に言ってた大会か
すっかり忘れてたよ
こちらこそすまんすまん…!!

じゃあ大会頑張れよ
ボラとても強いから
楽勝じゃん…はは

本当に…ごめんなさい…
私はもう…

もう戻れないの…

また嘘をついて
彼氏を騙したんだ
これで何回目だポラちゃん

違う…A君は…
大切な友達…

おうおう

素直じゃないなあ

いまさらw
まだそれを言うのか？

おんおんおんおん

お前ら付き合ってるないだ
信じられないだぜ

付き合ってる…ない
好きだけど…告る勇気がない
の…そこ…ん♥

お前ら付き合ってるないだ
信じられないだぜ

じゃあ俺の女になってよ
ほら、体の相性もいいし

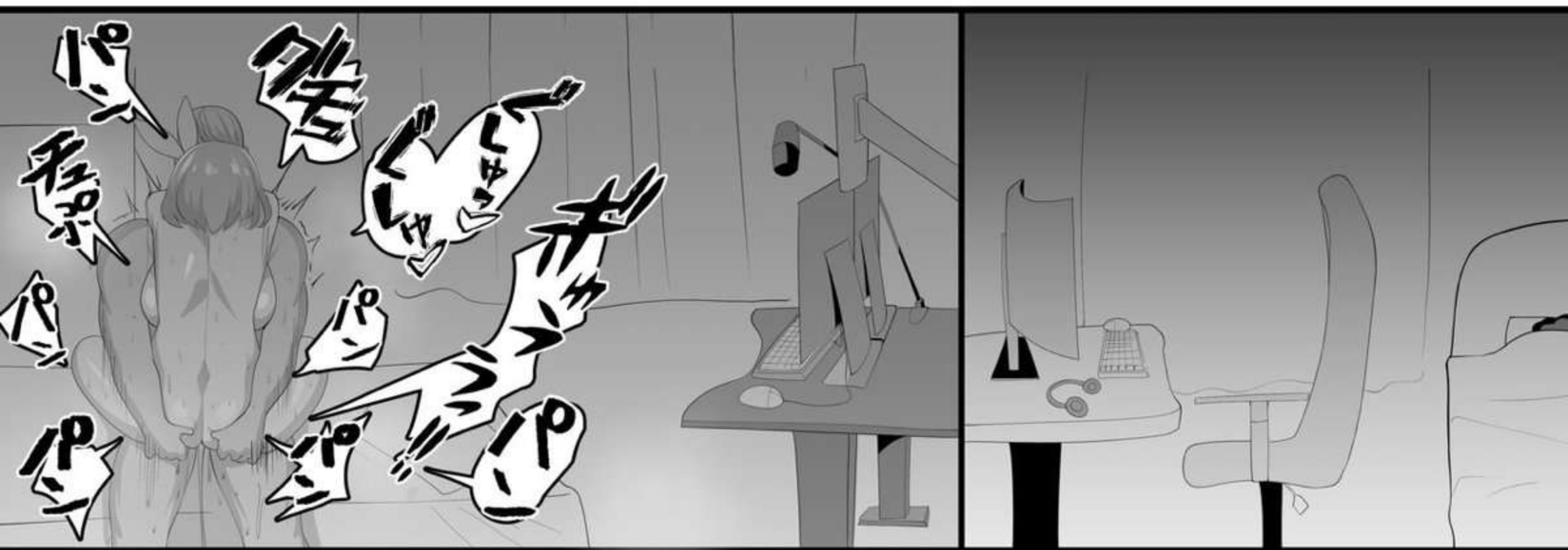
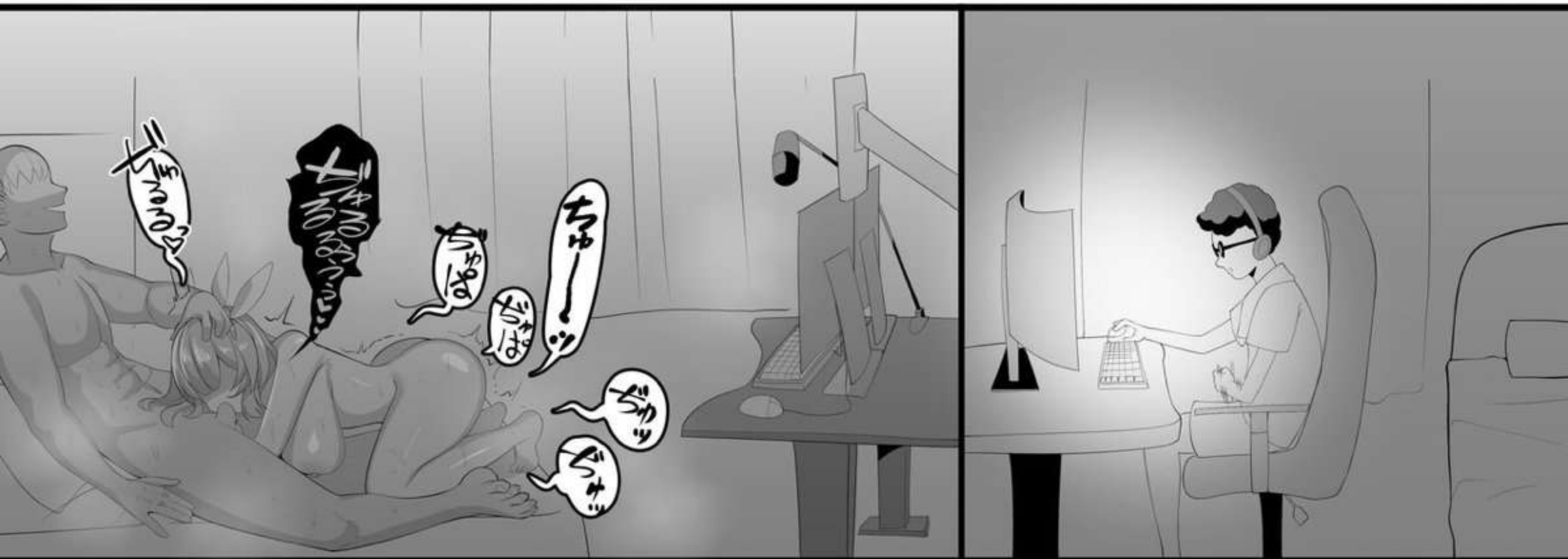
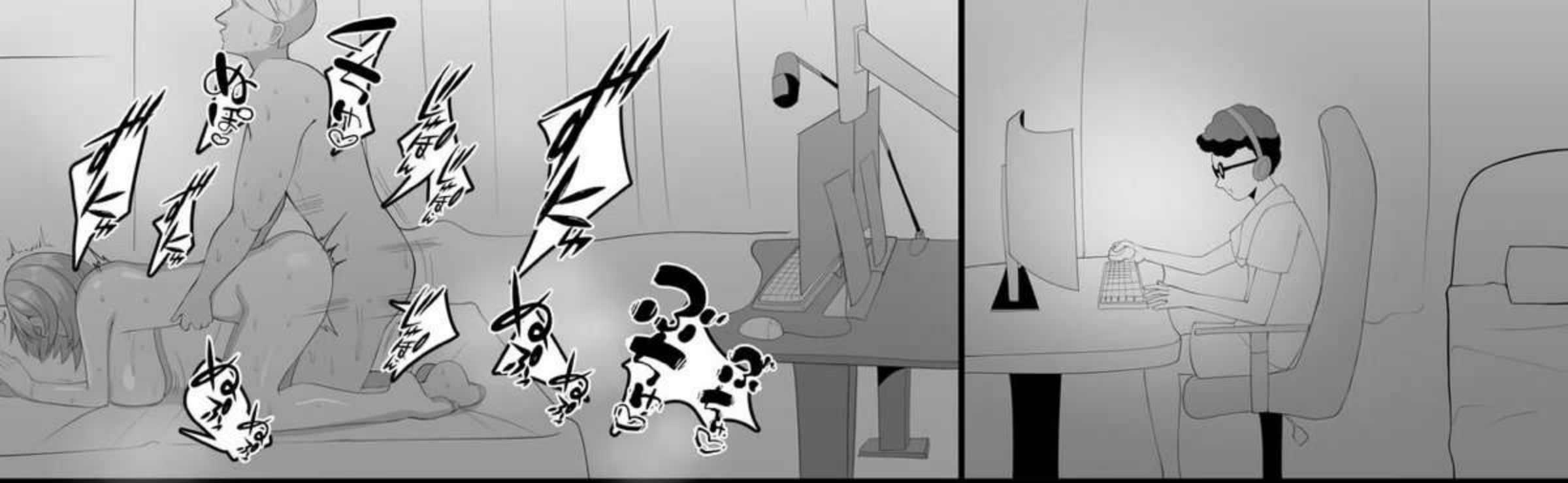
え!?

それに君も今
楽しんでんじゃないか

たしかにそうよ、でも…
最初と言ってる事が違う…

ぐわんぐわん





それから
この関係は何十日
も続いていた

これは…どうですか？

おう
もう発情しちゃったのか

エロいよ
朝までやれそうだぜ

は…はやく
キス…ください…

初めてのキスが…先輩に捧げた…
気持ちいい♡…今まで体験したことがない快感が…
どんどん脳内に溢れ出す…
もっと♡…もっと欲しい♡…



そう思っていないのに
止まらない快感が体を襲ってくる

あーあーあー

ちゅわ

ちゅわ

ああ...どうして...

ちゅわ

ちゅわ

ちゅわ

A君の姿...記憶が薄くなって
全部快感に支配されていく...
気持ちいい...♡

ちゅわ

お願い...入れて...

使い切ったぞ...
コンドームw

お願いします...

つけなくても
いいです♡♡♡...

言ったな?
じゃあ遠慮なく
生ハメしてやるぜ

ちゅわ

ちゅわ

ちゅわ

アッアッ

ああ♡♡!!はあ♡
これが…生ハメ♡



好きな人としかやらない
と思ったが
だれでもオツケーだったのか

A君は気が弱くて
全然告ってくれない…

違い…ます…!!
せ、先輩なら…

ほう…俺を彼氏として
認めていることだよな
A君可哀想だな

昔から…ずっと匂わせしてた
のに…本当鈍感だよな



つまり
今一番好きな人は…？

先輩です!!
先輩の精子
がほしいです!!…

先輩のちんぽ…
大好きです!!♥

もう…先輩じゃないと
生きられない体になっ
ちやうう…♥♥!!

ポラちゃんは
今日から俺の彼女な!!
記念日として朝まで
やろうぜ

ごめん…A君
快感に負けて
本当にごめんなさい…♥♥

はあ…い♥

